

所属・氏名（ 健康科学部 医療栄養学科 氏名：長嶺 憲太郎 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) RasGRP2 inhibits glyceraldehyde-derived toxic advanced glycation end-products from inducing permeability in vascular endothelial cells	共	2021年2月	Scientific Reports, 11, 2959 Nature Publishing Group	血管内皮細胞において、TAGEによる血管透過性の亢進を RasGRP2 が抑制していることを見出した。 (瀧野純一, 佐藤拓真, 金高 匠, 沖原香純, 長嶺憲太郎, 竹内正義, 堀 隆光)
2 (学術論文) Alterations in Glucose Metabolism Due to Decreased Expression of HNRNPM in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	共	2021年1月	Biology 10, 57 MDPI	膵臓癌細胞において、HNRNPM はグルコース代謝経路を抑制していることを見出した。 (瀧野純一, 佐藤拓真, 平石 勇, 長嶺憲太郎, 堀 隆光)
3 (学術論文) Suppression of hepatic stellate cell death by toxic advanced glycation end-products	共	2021年1月	Biol. Pharm. Bull., 44, pp. 112-117 日本薬学会	肝星細胞に対して、TAGEと TGFβ 共処理によってアポトーシスを抑制することを見出した。 (瀧野純一, 佐藤拓真, 長嶺憲太郎, 逆井 (坂井) 亜紀子, 竹内正義, 堀 隆光)
4 (特許出願) 細菌の培養方法及び検出方法	単	2020年11月	特願 2020-187611	液体試料中の細菌を培養する方法であって、試料中に通性嫌気性細菌が存在すればそれを増殖させることができる培養方法を開発した。 (長嶺憲太郎)
5 (総説)糖化蛋白質 HNRNPM に焦点を絞った NASH 発症に関わる遺伝子の探索 《筆頭論文》	単	2020年10月	BIO Clinica 35, pp 75-78 北隆館	HNRNPM の発現量を低下させた細胞を用いて、肝繊維化の要因となる糖化による NASH 発症に関わる原因遺伝子の探索に関して、我々が行った基礎実験から得られた知見をふまえて概説した。 (長嶺憲太郎)
6 (学術論文) Rapid detection of the Streptococcus mutans cnm gene by loop-mediated isothermal amplification	共	2020年9月	Analytical Biochemistry Volume 605, 113812, ScienceDirect	遺伝子増幅法として LAMP 法を用いることにより、口腔内からサンプリングした日を含めて 2 日間での cnm+ ミュータンス菌の検出を可能とした。 (北川雅恵, 長嶺憲太郎, 岡 広子, 應原一久, 小川郁子, 小松澤 均, 栗原英見)
7 (特許出願) 核酸の分離方法及び増幅方法	共	2020年2月	特願 2020-033984	核酸を含む試料から簡便に核酸を分離することができる方法、及び試料中の核酸を簡便に増幅することができる方法を開発した。 (長嶺憲太郎, 中山章文, 古川 彰)
8 (学術論文) The inhibition of Bax activation-induced apoptosis by RasGRP2 via R-Ras-PI3K-Akt signaling pathway in the endothelial cells	共	2019年11月	Scientific Reports, 9, 16717 Nature Publishing Group	RASGRP2 が低分子量 G タンパク質 R-Ras を活性化し、PI3K-AKT 経路を介して、ミトコンドリアからのシトクロム c の放出を抑制することによってアポトーシスを抑制していることを明らかにした。 (瀧野純一, 佐藤拓真, 長嶺憲太郎, 堀 隆光)
9 (総説) NASH 診断のためのバイオマーカーの探索 《筆頭論文》	単	2019年7月	BIO Clinica 454, pp 46-49 北隆館	HNRNPM の発現量を低下させた細胞における遺伝子発現変化を手掛かりにしたバイオマーカーの探索を中心に概説した。 (長嶺憲太郎)
10 (学術論文) RASGRP2 suppresses apoptosis via inhibition of ROS production in vascular endothelial cells	共	2019年1月	The Scientific World Journal, 2019, 4639165	RASGRP2は、TNFαシグナリングにおいてROSの生成を抑制する経路に関与していることを見出した。 (瀧野純一, 佐藤拓真, 長嶺憲太郎, 西尾和人, 堀 隆光)
11 (特許出願) ストレプトコッカス ミュータンスの検出方法	共	2018年10月	特願 2018-203498	LAMP 法を使う事によって口腔中ミュータンス菌を2日で検出できる方法を開発した。 (長嶺憲太郎, 北川雅恵, 栗原英見)
12 (学術論文) Gene expression changes associated with the loss of heterogeneous nuclear ribonucleoprotein M function	共	2017年4月	American Journal of Molecular Biology 7, pp87-98	肝がん細胞株においてHNRNPMの発現抑制に伴い、細胞外で機能するものとして、10遺伝子(増加)および4遺伝子(減少)見出した。 (瀧野純一, 長嶺憲太郎, 鈴木美琴, 逆井 (坂井) 亜紀子, 竹内正義, 堀 隆光)